

平成 26 年度 事業報告書

《公益目的事業》

1 若年就職希望者の県内定着の促進

(1) 学生と県内企業との出会いの場づくり

これまで卒業・修了予定の学生を対象に、県内に事業所・就業場所を持つ企業が自社の特徴や事業内容を説明する「いわて就職ガイダンス」を卒業・修了の前年度の 1 月に開催してきたが、平成 28 年 3 月卒業・修了予定学生から企業の広報活動開始が平成 27 年 3 月、選考活動開始が平成 27 年 8 月にそれぞれ変更されることとなった。(正式な内定日は従来どおり 10 月 1 日以降)

このため、当財団としては、この新ルールに対応し、「いわて就職ガイダンス」は平成 28 年 3 月卒業・修了の学生から卒業・修了年度に入った 4 月にずれこんだ形で開催することとした。(参考のとおり)

<参考>

()内は前回開催(平成 26 年 1 月 19 日)の実績

名 称	開 催 日	場 所	参加 企業数	参加者数
いわて就職 ガイダンス	平成 27 年 4 月 19 日(日)	岩手産業文化センター アピオ	131 (132)	800 (989)

また、「岩手県 U・I ターンフェア II」(平成 27 年 3 月 22 日開催)に合わせて首都圏等の学生を対象とした「就職ガイダンス」を東京都で開催した。

()内は前回開催(平成 26 年 2 月 11 日)の実績

名 称	開 催 日	場 所	参加 企業数	ガイダンス 対象学生数
首都圏・いわて 就職ガイダンス (平成 26 年度 岩 手県 U・I ターン フェア II に併設)	平成 27 年 3 月 22 日(日)	東京都 秋葉原 UDX ギャラリー	52 (49)	80 <フェア参加者 144 人中> (47)

(2) 就職活動への支援

平成 27 年 3 月卒業・修了予定の学生や既卒者を含む一般の求職者と、県内企業(登録必要)との面談の場として開催している「いわて就職面接会」を次のとおり開催した。

回	名 称	開 催 日	場 所
1	いわて就職面接会 I	平成 26 年 4 月 19 日(土)	岩手産業文化センター アピオ
2	いわて就職面接会 II	平成 26 年 6 月 26 日(木)	岩手産業文化センター アピオ
3	首都圏・いわて就職面接会 (第 1 回岩手県 U・I ターン フェアに併設)	平成 26 年 8 月 24 日(日)	東京都 秋葉原 UDX ギャラリー
4	いわて就職面接会 III	平成 26 年 9 月 25 日(木)	岩手産業文化センター アピオ
5	いわて就職面接会 IV	平成 26 年 11 月 18 日(火)	岩手産業文化センター アピオ

▽今年度の開催結果

()内は前年度の実績

回	名 称	参加企業数	参加者人数
1	いわて就職面接会 I	155 (131)	619 (686)
2	いわて就職面接会 II	154 (136)	346 (575)
3	首都圏・いわて就職面接会 (平成 26 年度岩手県 U・I ターンフェア I に併設)	50 (49)	62 (87)
4	いわて就職面接会 III	145 (120)	202 (280)
5	いわて就職面接会 IV	128 (115)	197 (257)

- ① 就職面接会では、会場～盛岡駅及び会場～滝沢駅の臨時バスの利用者に対して乗車券(往復)を負担していること(就職面接会 I から)
- ② 参加企業の申込みが増えているため、会場のレイアウトを変更し、参加企業数を増やしたこと(就職面接会 I から)
- ③ 岩手県中小企業団体中央会と共催していること(就職面接会 II から)
- ④ 会場内に参加者向けの相談コーナーを設置したこと(就職面接会 III から)
- ⑤ スタッフジャンパーを一新したこと(就職面接会 III から)
- ⑥ 情報通信業及び医療・福祉の企業のブースをそれぞれ一つのブロックにまとめたこと(前者は就職面接会 II、後者は就職面接会 III から)

- ⑦ 企業ブースでの説明時間を設定し、面接希望者が計画的に回れるように配慮したこと(就職面接会Ⅲから)
- ⑧ 盛岡タイムスの一面題字下に広告掲載したこと(就職面接会Ⅲから)
- ⑨ 会場内をスタッフが巡回して参加者に声掛けを行ったこと(就職面接会Ⅳから)
- ⑩ JR 盛岡駅と矢幅駅にポスター掲出、東北本線(710系)に中吊り広告掲出したこと(就職面接会Ⅳから)
- ⑪ 岩手日日新聞のいわにちりビング県南版に広告掲載したこと(就職面接会Ⅳから)

(3) 就職支援情報の提供

ア 就職支援システムによる提供

就職支援システムに登録した企業情報及び求人情報を当財団のホームページ上で公開して情報を提供している。就職面接会などのイベント開催時においても当システムを活用し、参加予定企業の情報などを事前にホームページで公開するなど、幅広い情報発信を行っている。

- ・登録企業数(3月末現在) 686社
- ・4~3月新規登録企業数 67社
(情報通信業 13社、製造業 11社、卸売・小売業 11社など)
- ・4~3月ホームページアクセス件数 月平均 5,471件 (前年度月平均 6,326件)

なお、就職支援システム(ホームページ)の利用者の「使い勝手」を良くするため、機能や提供内容を平成26年8月から以下のとおり改良している。

- ① 基本機能の見直し…新たにスマートフォンへの対応を図った。
- ② 検索機能の向上…求職者の多様な希望に応えるため、企業の検索方法に新たにフリーワード検索などを追加した。
- ③ 情報の充実…求職者と企業とのマッチングを高めるため、企業情報の中に「求める人材像」の項目を追加した。

なお、平成26年度で当システムの運用保守契約が終了することから、これに合わせて、新たに平成27年度に高機能を備えたシステムを導入することとし、そのソフトウェア資産取得資金を平成27年3月に積み立てた。

イ 就職応援紙「Défi (デフィ)」の発行

県内及び東北管内の大学や短大はじめ、県内専門・専修学校の学生向けに、県内の関連イベントの開催情報や、デザインを一新したほか、タイトルを新たに「Défi (デフィ)」として、3月に特集号2,200部発行した。

ウ 「いわてのシューカツポイントGUIDE」の発行

例年、「就職ガイダンス」に参加する学生を対象に、「いわて就職面接会」等に参加する際のポイントなどを掲載した就活ガイドブックを作成・配布しているが、今年度は平成 27 年 3 月 22 日の首都圏いわて就職ガイダンス（岩手県U・IターンフェアⅡに併設）に併せて作成・配布した。また、平成 27 年 4 月 19 日に県内(アピオ)で開催予定の就職ガイダンスにおいて参加者(平成 28 年 3 月卒業・修了予定の学生等)に配布する予定である。(発行部数：1,500 部)

(4) 関係機関との連携

若年者等の県内就職支援に当たっては、ジョブカフェを運営する県、地元の企業情報を把握する各市町村、新卒応援ハローワークやジョブサポーターで新卒・既卒者を支援する国(労働局)、さらには、大学、短大、専門学校等の教育機関、商工団体等と連携を密にしながら取り組んでいる。

前年度に引き続き国の補助事業(中小企業人材確保・定着支援事業)を受託している県中小企業団体中央会と連携し、岩手県U・Iターンフェアの共催、スタッフの協力、開催費用の分担、イベント開催情報の相互PRなどに努めた。

また、今年度の各イベントにおいて、ジョブカフェいわて、県、市町村、ハローワーク(新卒応援ハローワークを含む)などの協力を得ている。

2 県外からのU I ターンの促進

本県の人口は、平成 26 年 2 月の推計人口で 129 万 2 千人と平成 16 年の 139 万 5 千人から 10 年間で 10 万人減少している。1 年間に約 1 万人ずつ減少したことになる。特に 15～64 歳の生産年齢人口の減少が著しい。

こうした人口推移のなかで、U・Iターン希望者の受け皿づくりは本県の活力と魅力を向上させるうえで重要となっている。U・Iターンを主として雇用の面から支援する取組みとして実施してきているが、U・Iターン対策は総合的な定住促進施策のなかで位置付けられる必要があり、U・Iターンフェアを核に県や市町村など関係機関に働きかけ、支援策の充実に努めた。

(1) U・I ターンフェアの開催

岩手県 U ターンセンター(岩手県東京事務所)の U ターン就職等希望登録者を中心に、県内への U・I ターンを希望する首都圏在住者に対して県内企業と面談する場を提供した。

なお、平成 22 年度から東京の「中野サンプラザ」を会場として開催してきたが、イベント会場として、より使い勝手が良く、企業等の採用面接会場としても利用頻度の高い「秋葉原 UDX ギャラリー」に変更した。

また、広報についても、東京都内の JR 駅、いわて花巻空港、盛岡～東京間の高速バスのほか、ふるさと回帰支援センターのホームページ掲載(有料)など新たに実施した。

回	名 称	開 催 日	場 所
第 1 回	岩手県 U・I ターンフェア I	平成 26 年 8 月 24 日 (日)	東京都 秋葉原 UDX ギャラリー
第 2 回	岩手県 U・I ターンフェア II	平成 27 年 3 月 22 日 (日)	東京都 秋葉原 UDX ギャラリー

▽今年度開催結果

()内は前年度の実績

回	名 称	参加企業数	参加市町村数	参加者人数
第 1 回	岩手県 U・I ターンフェア I (秋葉原 UDX ギャラリー)	50 (49)	9 (9)	62 (87)
第 2 回	岩手県 U・I ターンフェア II (秋葉原 UDX ギャラリー)	52(49)	12 (9)	144 (98)

- ① 就活の特別講座や、県(地域振興室)、県内自治体(釜石、遠野、北上)、岩手県中小企業団体中央会がプレゼンテーションを行ったほか、岩手県の魅力を伝える PR 映像の放映を行った。(第 1 回)
- ② 岩手の仕事と暮らしをテーマにトークセッションを開催した。(第 2 回)
- ③ 受付票の記載項目を細分化し、参加者から希望内容を詳細に確認し、該当する企業や団体等に誘導を行った。(第 1 回)
- ④ キャリア・カウンセラー(県出身者等)に委託して適職診断(ブース)を昨年度に引き続き実施した。
- ⑤ フェア参加者にアンケートを行ったところ、移住定住(再就職を含む)を検討中と回答のあった 19 人(男性 12 人、女性 7 人)にアフターフォローを実施した。
- ⑥ 広報については、朝日新聞東京本社版などの新聞媒体のほか、ダイヤモンド就活ナビ(ホームページ)やリスティング広告(注)を実施した。(第 1 回)

- ⑦ 今年度から認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター(東京都千代田区)の会員となり、同センター内にチラシを配架したほか、同センターのホームページにフェアの開催情報を掲載した。

(注) リスティング広告:Web サイトで検索されたワード(言葉)に連動して広告が出稿される方法。例えば、「岩手」「U ターン」「就職」などのワードを多くクリックする閲覧者に強く訴求する広告手法。

(2) U・I ターン希望者への情報提供

今年度は、参加市町村や関係団体等の相談内容や U・I ターンに対する考え方や PR メッセージを掲載するなど、配布資料の内容の充実を図るほか、同フェアを通じて U・I ターンした方の体験談などを紹介した小冊子を 8 月のフェア開催に合わせて 2,000 部発行した。(配布先は首都圏の大学等や県外事務所など)

このほか、県内市町村等の定住・移住に関する取組みや支援の情報の収集を開始している。今後、これらを基に移住定住に関する情報発信の充実に努めることとしている。

(3) U・I ターン支援対策の充実

U・I ターンの支援策の充実に向けて、県(雇用対策・労働室、地域振興室のほか、県外事務所や岩手県 U ターンセンターなど)、市町村、県人会、首都圏の大学等と引き続き連携を図りながら取り組んでいる。

県では、昨年度に引き続き震災で被害を大きい沿岸地域を支援するため 8 月の U・I ターンフェア I 及び 3 月の U・I ターンフェア II に参加し、沿岸支援コーナー(企業と自治体などのブースを集約)を設置したところであるが、当財団としても積極的にこれに協力した。

3 出稼ぎ就労者の援護

本県の出稼ぎ就労者が病気や災害に遭わず、安心・安全に就労出来るように関係市町村を通じ出稼ぎ互助会加入を促進している。

一方、出稼ぎをめぐる環境変化の中、互助会員が減少しており、また、昨年度、関係市町村を訪問し、「出稼ぎ互助会事業」について聴取したところ、当業務の位置付けや質に違いが見られたことから、本事業の今後のあり方について検討しているところである。

(1) 傷病等事故見舞金の給付

互助会員が就労先で災害若しくは疾病によって死亡又は休業したときなどに傷病等事故見舞金を給付している。

▽傷病等事故見舞金の給付状況(平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

給付の種類	件数	給付金額
死亡見舞金		
※傷病見舞金	6	320,000 円
重度障害見舞金		
火災見舞金		
治療証明書交付手数料	(5)	10,000 円
遺族旅費		
賃金立替金		
計	6	340,000 円

(注) 傷病見舞金の給付内容

- ・花巻市出身の男性(67 歳) 酒造工 作業中に高さ 1.8m の渡り板から転落
(2 回申請)
- ・久慈市出身の男性(56 歳) 大工 作業中に脚立から足を踏み外し転落
- ・洋野町出身の男性(53 歳) 潜水土 水深での作業中に怪我
- ・久慈市出身の男性(34 歳) 枠型大工 作業中に足元が滑って転倒
- ・花巻市出身の男性(67 歳) 酒造工 突然の腹痛により手術、入院

(2) 「出稼ぎの葉^{しおり}」の発行

互助会員に対する意識向上と健康で安全な就労を図るため、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」を 2,000 部作成し、互助会員等に配付した。(11 月)

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎに関する各種統計や関連事業の実施状況などを掲載した「岩手県における出稼ぎの実態」を今年度も 100 部作成し、市町村や関係機関に配布した。(8 月)

(4) 市町村窓口業務マニュアルの作成

昨年度、関係市町村を訪問したところ傷病等事故見舞金給付申請手続きについての簡便な業務マニュアルの希望があったことから、申請書作成のポイントなどをわかりやすく説明したマニュアルを作成して市町村に配布した。(4 月)

(5) 「健康で安全な出稼ぎ推進月間」及び「出稼ぎ互助会加入促進月間」

健康で安全な出稼ぎと互助会への加入促進のため、県、労働局との共催による上記月間(10月1日～31日)に合わせて、啓発用のポスター、チラシを作成し、市町村や関係機関に配布したほか、当財団のホームページでも周知を行った。

また、今年度も互助会の加入促進のため市町村を訪問した。

(6) 出稼ぎ就労者援護対策の充実

出稼ぎ就労者援護対策については、国(労働局)、県、市町村が、それぞれの立場から取り組んでいるが、当財団としても情報共有を図りながら、出稼ぎ互助会事業も含め今後の出稼ぎ就労者援護対策全般について現状と課題を分析し、今後の事業推進のあり方について検討している。

▽今年度の検討状況の概要

- ① 5月 互助会の規程の内容精査
- ② 6月 検討項目とスケジュール(工程表)の策定
出稼ぎ労働者の主要団体の一つを訪問調査
- ③ 7月 出稼ぎ就労関連の他制度(労働法・社会保険)の把握と互助会事業との比較
岩手県の出稼ぎ対策の体系分析
- ④ 9月 損害保険制度の仕組みと互助会制度(特定保険業)の比較(調査中)
- ⑤ 2月 市町村を訪問し、互助会加入促進と実情把握

4 法人の運営

(1) 法人運営の基本的考え方

ア 理事の改選

理事の任期(2年)が平成26年6月に満了するため、改選手続きを行った。

(主な変更点)

○理事13人⇒14人(うち新任理事6人)

イ 資産運用方法の検討

財団運営の財源の中心は県等からの出資による基金の運用益であるが、資産運用のほとんどが国債である。債券の利回りが低下している中で、平成26年度に保有債

券の償還が集中することから、前年度 3 月に運用対象債券の追加やリスク防止のため格付基準の導入など資産運用規程の改正を行ったが、5 月においても一部改正した。

6 月以降、改正された同規程に沿って償還予定の全ての償還債券の乗換えを行ったところである。

定期預金については、利息収入を増やすため、11 月から運用財産の一部(定期預金)を外貨預金で運用している。運用に当たっては、為替変動リスクの小さい先進国(ニュージーランドドル)の外貨預金を対象としているほか、運用期間を 3 か月として運用リスクを抑えている。

- ① 平成 26 年 5 月の一部改正の概要
 - ・債券の格付け基準を見直した。(債券の残存年限等)
 - ・その他、所要の改正を行った。
- ② 本年度の資金運用の状況(別添 1「資産の運用状況」及び別添 2「資産運用状況による受取利息額の比較」)

ウ 計画的、効率的な事業の運営

経済・雇用情勢の変化が大きい中、3 年程度を目標とする当財団のアクションプランを策定し、計画的、効果的な事業の運営に努めることとしている。

なお、今年度は県出資法人として、県に提出している県出資等法人に係る中期経営計画(平成 24～26 年度)の最終年度に当たることから、次期計画とも整合性のとれたアクションプランとすることとしている。

なお、次期中期経営計画(平成 27 年度～平成 29 年度)については、県の「いわて県民計画」の「第 3 期アクションプラン【改革編】」策定後に策定予定であり、その結果を受けてから策定作業を行うこととしている。

エ 県との連携

当財団の運営や事業推進に当たっては、県(商工労働観光部雇用対策・労働室)の施策の方向と認識を共にしながら事業を推進するため、随時に連絡、協議の場を持つなど連携を密にしている。

また、U・I ターンの促進については、県地域振興室(県北沿岸・定住交流担当)主催の「いわて定住交流促進連絡協議会」(県、市町村、関係団体の取組情報の共有等を目的)の構成員として参加するなど、関係機関と情報共有を図りながら効果的な事業の展開に努めている。

(2) 理事会運営

定時理事会の開催（年度終了後3ヶ月以内、年度中間及び3月開催）

第1回目…平成26年5月22日開催 場所：リリオ(盛岡市大通)

主な決議事項：事業執行状況、収支決算、資産運用規程の一部改正、
定時評議員会の招集

第2回目…平成26年10月31日開催 場所：ホテルエース盛岡(盛岡市大通)

主な報告事項：事業執行状況、中間決算、資産運用状況(上半期)

第3回目…平成27年3月17日開催 場所：ホテルエース盛岡(盛岡市大通)

主な決議事項：事業計画、収支予算、資金運用計画、ソフトウェア
取得資金の積立、事業報告、収支決算見込み、資産運用状況(2月末
現在)

(3) 評議員会運営

定時評議員会の開催（年1回開催、年度終了後3ヶ月以内に開催）

平成26年6月6日開催 場所：エスポワールいわて(盛岡市大通)

主な決議事項：事業報告、収支決算の承認、理事選任、評議員選任

(4) ロゴマーク作成による財団認知度の向上

公益財団法人として3年目を迎え、認知度向上と取組み事業の周知等に役立てるため、新たにロゴマークを制作した。

現在までポスター、チラシ、配布資料、スタッフジャンパーなどに広範な活用を行っている。

(5) 諸規程の改正

公益財団法人としての運営に関し、改正を行った規程は次のとおりである。

ア 資産運用規程

債券の格付基準の見直しと所要の改正（5月22日施行）

イ ソフトウェア資産取得資金取扱規程

平成27年10月頃の導入を目途とする新たな就職支援システムをソフトウェア資産として取得する資金に関する規程（3月17日施行）

このほか、ITポリシーなど個人情報保護規程については研究中である。